

防災かわら版

問合せ先 防災安全課防災係（窓口⑩） ☎364145

～3月5日（日）は津波避難訓練の日です～

県では、東日本大震災が発生した3月11日を含む10日間を「津波対策推進旬間」と定め、3月5日（日）を統一実施日として、津波避難訓練が実施されます。市では、午前9時に地震発生時のサイレンと緊急速報メールにより訓練開始をお知らせします。訓練参加時には、検温や不織布マスク着用、手指の消毒など、基本的な感染症対策を行うようご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により訓練内容が変更または中止となる場合があります。

～「津波てんでんこ」の精神に学ぶ～

津波避難訓練に先立ち、今回は防災教育の成功事例である「津波てんでんこ」についてご紹介します。

津波てんでんことは、三陸地方に伝わる教訓で「津波が起きたら、てんでんばらばらに逃げる」という意味があります。平成23年3月11日の東日本大震災時には、この教訓が活かされた事例が多く見られました。

釜石市の釜石東中学校に通っていた生徒は、防災教育として津波の恐ろしさと、各自が一刻も早く高台に避難することの大切さを学んでいました。発災直後も、その教えに習い中学生は迷うことなく率先避難を行いました。高台に避難する中学生を見て、隣接する小学校で先生の指示を待っていた小学生も、すぐに避難を開始しました。中学生の率先避難により、釜石東中学校と鶴住居小学校に通っていた児童・生徒約570人は全員無事に避難することができました。

このように災害時の避難は、普段から考えておくことが大切です。地震発生時には、揺れが収まったら各々で高台に避難することが望まれますが、中には一人で避難できない状況も想定されます。一人で避難するのが困難な場合は、近所の人との避難方法を検討するなど日頃から周り話し合い、実際の避難をイメージしておきましょう。



～引き続き戸別受信機の貸与を行っています～

防災行政無線のデジタル化に伴い、令和4年12月よりアナログ式の防災ラジオでは同報無線の放送内容が受信できなくなっています（通常のラジオ放送は、現在も受信可能です）。市では、ご自宅でも同報無線の内容を確認できるよう、デジタル式の戸別受信機を各世帯に1台無償で貸与しています。新しい戸別受信機の貸与をご希望の方は、防災安全課（窓口⑩）や市ホームページで申請書を入手し、直接提出もしくはメール・FAX等で申請してください。申請後、窓口にて戸別受信機をお渡しします。

すでに戸別受信機の貸与を受けている世帯については、現在使用しているものを引き続きご利用ください。



戸別受信機を申請するとき防災ラジオは返却するの？

以前購入していただいた防災ラジオの返却は不要です。防災ラジオがご不要になった場合は、ご自身で処分をお願いします。



電波が入らない場合はどうすればいいの？

壁などの障害物が多い場所では受信しにくくなります。アンテナを立てて窓際に移動する等の対応をしていただき、それでも受信できない場合は防災安全課までお問合せください。



第一回 しもだ健康川柳

入賞作品 発表



大賞

市長賞

健康に

生きた証が

笑い皺

（よっちゃん）

下田川柳黒潮吟社賞

百歳を

目指す健診

伊豆下田

（吉野 好江）

伊豆の太陽賞

若ぶっても

医師の一言

加齢です

（増田 豊）



（上段左から）斎藤市民保健課長、鈴木由紀子さん（下田川柳黒潮吟社）、松木市長
（下段左から）大年美代子さん（下田川柳黒潮吟社）、増田豊さん、吉野好江さん、西塚好美さん

入選 下田川柳黒潮吟社選

歯も脚も 経年劣化 でも自前

（シーホーク）

歴史好き 下田散策 健脚に

（コタ）

共白髪 無事に生きたい 万歩計

（母恋し）

健やかに 過ごせる日々の 有難さ

（むぎ）

減塩で 素材の味が よくわかり

（緑子）

入選 下田市選

高血圧 イケメン医師に 胸高鳴る

（おはぎ）

カロリーは 高いものほど おいしいよ

（スタミナ太郎）

見えないが 勘が当たって 視力よし

（兼高光）

年1回 健診前だけ 休肝日

（母応援団）

健康は お金で買えない 貴重品

（34）

応募総数
280 句

入賞作品以外にも、爽快な句、痛恨な句など盛りたくさん！ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました！！ 応募作品は、地域の方の健康寿命延伸に向けて、下田市の保健事業等に幅広く活用させていただきます。※応募作品は、市ホームページに掲載しています。

主催：下田市 協賛：下田川柳黒潮吟社

問合せ先 市民保健課国保年金係（窓口③） ☎23922